

震災追悼アセンブリー

令和6年1月17日

気温は低いものの穏やかな冬晴れの今朝、全校生徒がグラウンドに集合し、29年前の阪神淡路大震災の追悼を行いました。本校では阪神淡路大震災によって、生徒2名と職員1名が命を失ったことから毎年、1月17日に追悼の全校集会を行っています。改めまして、彼らを含む6,343名の方々のご冥福を心からお祈りします。

今年は元日に能登半島地震が起こり、被災した人たちの状況が毎日、テレビ等に映し出されていることで、一層震災に対する思いが強い集会となりました。

今日は本校にある「報国の鐘」の音を3回聞きながら黙禱を捧げ、校長と自治会長から話をしました。私からは、当時の1年生の手記を読み上げ、自分を大切に、他人を大切にする姿を、志半ばで亡くなられた先輩に見せることが後輩である我々が実践しなければならないことと話しました。また、今まさに被災している人々に対して、すぐでなくても良いので自分ができる支援をしてほしいと伝えました。

今日1日は、命について、幸せについて考える日にしてほしいと思います。

